

# 市職労退職者の会

2017. 12. 8  
だより No42号

〈ご案内〉

## 第十回市職労退職者の会総会

師走に入って季節が一段と冬らしく寒さが



紅葉をバックに記念写真。曇り空で少し残念、でも気分は最高です

入会案内を受けていなかった方もおられます。知り合いの方でまだ入っていない方には是非声を掛けて下さい。

強まってきました。会員の皆様には風邪などひかず、年末年始を元気で過ごされ、新しい年を迎えられますよう祈念します。

さて、市職労退職者の会は会員の皆様のご支援・ご協力を持ちまして来年1月で結成10周年を迎えます。つきましては、左記の日程のとおり第10回総会を開きます。また新年懇親会も行いますので多くの会員の皆様方にご出席いただきますようご案内申し上げます。

**日時** 1月20日(土)

午前11時00分から

午後2時00分まで

**開場** 平和楼天神本店

**内容** 第1部 総会

- ① 経過報告 ② 決算報告
- ③ 新計画案と予算案

第2部 懇親会

\*参加費は3,000円

申込締切 1月18日まで(組合に)

電話 711 4940

Fax 714 4013

(注意) 懇親会参加のキャンセルは、予約の都合で18日(木)までお願いします。

\*多くの皆様の参加をよろしく願っています。

### 退職者作品展の開催について

市職労退職者の会では、第10回総会の日程に合わせて「第1回セカンドライフ・ギャラリー」を左記のとおり開催します。

多くの会員の皆様から絵画、陶芸、書画、写真、パッチワーク、ステンドグラス、和裁・洋裁、文学作品など多彩な分野からの出展が予定されています。

① 開催日

二〇一八年一月一八(木)～二一日(日)

午前10時から午後7時まで

(最終21日は午後4時まで)

② 会場

福岡市文学館(通称 赤レンガ館)

③ 作品募集期間

二〇一七年十二月二十五日まで

\*出展希望の方は、左記まで連絡下さい。

④ 連絡先 組合書記局(711 4940)

⑤ 第6回準備会について

日時 12月27日(水) 11時より

会場 市職労書記局

《第10回バスハイクの報告》

## 地震被害は今も深刻

恒例の第10回バスハイクは参加者28人と例年になく少人数となりましたが、11月18日（土）に紅葉の阿蘇と内牧温泉のコースで実施されました。天候の崩れも心配されましたが昼前から青空も見え寒さもなく、熊本大地震のため片側通行など交通規制が続いている菊池溪谷を通り、阿蘇大観峰を経由して阿蘇神社に向



車と機材などが置かれていて工事関係者以外には人影も無く、行き交う車もほとんど有りませんでした。阿蘇五岳が一望できる展望台にも人影は少なく、1年半が過ぎた今も観光地と

しての地震被害が続いていることを実感しました。



阿蘇神社では、ポランテ

使って阿蘇神社がどのような被害を受けたのか、再建に向けてどの様に工事が進められているかなど詳しく説明を受けました。

続いて、神社境内に入って社殿などの倒壊現場と被害を免れた本殿の作りなどについて説明を受けました。阿蘇神社には支援も兼ねた観光客の方々や七五三のお参りに来た家族連れ



なども沢山見受けられました。交通規制などの影響もあって到着時間が遅れたため見学と観光のための時間が十分とれなかったのは残念でした。続いて、内牧温泉の「阿蘇プラザ

ホテル」で昼食交流を行いました。今回は、被災地の観光復活に向けた願いも込められており、出された料理の数や内容が素晴らしく、食べ切れないほどの料理に満足の声が多く寄せられました。また、カラオケ大会や温泉に浸かるなど2時間余り過ぎました。

帰りは、下城の大滝と大イチョウを見るため立ち寄りしました。国の天然記念物にも指定された樹齢1000年とも言われる銀杏の木は幹回り12m、高さ25mもある大木でした。最後に大山ひびきの郷に立ち寄り買い物をして午後6時前には市役所に帰り着きました。

近年、全国各地で毎年のように大規模自然災害が多発しています。地球温暖化が大きく影響していると言われていますが、アメリカのトランプ政権は自国中心主義を唱えてパリ協定からの離脱を表明しました。自然エネルギーの利用を促進する政策転換が世界の流れになつていくとき、核兵器や原発依存を続ける日本もまた同様の批判を受けていることは残念です。（事務局横多）

